

修士論文（要旨）
2010年1月

継承日本語学習者の「読み」
—ボリビアの移住地における実践活動をもとに—

指導 佐々木倫子 教授

国際学研究科
言語教育専攻
208J4019
丸山隆也

目 次

| | |
|---------------------------|-----|
| 第 1 章 研究動機と研究目的 | 1 |
| 1.1 研究動機 | 1 |
| 1.2 研究目的 | 1 |
| 第 2 章 ボリビアの継承日本語教育の現状 | 3 |
| 2.1 ボリビア国内の日本語教育 | 3 |
| 2.2 オキナワ第 2 移住地 N 校の日本語教育 | 4 |
| 2.3 先行研究 | 6 |
| 第 3 章 調査概要 | 8 |
| 3.1 調査概要 | 8 |
| 3.2 実践前と実践後の調査方法 | 9 |
| 3.2.1 質問紙調査 | 9 |
| 3.2.2 絵本の話作り | 11 |
| 3.3 実践概要 | 16 |
| 3.3.1 B クラス | 16 |
| 3.3.2 D クラス | 21 |
| 3.3.3 絵本・雑誌の理解度の確認 | 32 |
| 第 4 章 調査結果と考察 | 35 |
| 4.1 実践前と実践後の調査 | 35 |
| 4.1.1 質問紙調査(実践前) | 35 |
| 4.1.2 質問紙調査(実践後) | 45 |
| 4.1.3 絵本の話作り | 60 |
| 4.2 実践結果 | 68 |
| 4.2.1 B クラス | 68 |
| 4.2.2 D クラス | 74 |
| 4.2.3 絵本・雑誌の理解度の確認 | 80 |
| 4.3 読書環境 | 86 |
| 4.4 インタビュー調査 | 89 |
| 4.4.1 N 日本語学校校長 | 89 |
| 4.4.2 県派遣教師 | 95 |
| 第 5 章 結論 | 100 |

引用・参考文献

謝辞

資料

第1章 研究動機と研究目的

稿者は、JICA 日系社会青年ボランティアの日系日本語学校教師として、2年間、ボリビアのオキナワ移住地のN校で活動してきた。日々、N校の子どもたちと共に様々な体験をする機会が多くあった。その中で「話す」「聞く」と比べると、「読み書きの力」が低いと感じ、子どもたちの「読み書きの力」、特に読む力の育成に関心を持った。しかし、読む力の育成の前にやらなければならないことがあると感じた。それは継承日本語学習者である子どもたちの「読み」に対する興味をどのように持たせるかであった。これが稿者の本研究を行うに至った動機である。

そこで、本研究では「従来型の国語教科書のかわりに年齢にほぼ対応する生教材を導入することで、継承日本語学習者の読みに関する興味や関心を引き出すことができるか」を研究目的とし、調査結果を踏まえ検証を行った。

第2章 ボリビアの継承日本語教育の現状

オキナワ移住地は、1954年に沖縄県からの第1次移民団が入植して、2004年に50周年を迎えた戦後移住者の居住地である。ボリビアでの日本語教育は現在、戦後の集団移住地や日系団体が中心になって、日本語教育の促進が行われている。オキナワ第2移住地にあるN校は、午前中はスペイン語による公教育、午後は日系人の子どもたちへの日本語学校として、日本語などの授業が行われている半公立の小中学校である。各クラスの授業は、日本の国語教科書が主に使われ、読み書き中心の複式授業が行われていた。

絵本を使用した先行研究では、国府田(2004)が子どもたちの変容に『『対話』の促進』、『自己開示』の促進』、『言語の表現モデルの提示』と、絵本が3つの役割を果たしていることを言及していた。また、中川(2008)も海外在住の継承日本語教育学習者に対して絵本の読み聞かせを活用して、「経験」「対話」「自己開示」に効果を与えることを言及していた。先行研究から、教科書や日本語教材のかわりに子どもたちに「読み」への興味を持たせることができるものとして、絵本や雑誌を日本語の授業に使用することを思いついた。

第3章 調査概要

オキナワ移住地のN日本語学校で、2009年3月3日から5月30日までの約3か月間にわたる授業実践に基づく調査を実施した。低学年のBクラス10名(男4名、女6名)と中学生のDクラス9名(男4名、女5名)と、両クラスの担任教師の調査協力を得て、授業実践を行った。実践前と実践後に、質問紙調査、フォローアップインタビュー、題名と文字を隠した絵本を使用して、子どもたちに自由に話を作ってもらい絵本の話作りも行った。

授業実践では、Bクラスは2冊の絵本(Dクラスは雑誌)から興味がある方の絵本(雑誌)を選択してもらい、2つのグループを作り、それぞれのグループで活動を行った。授業後、各自が選択した絵本(Bクラス)や雑誌(Dクラス)の一部分を音読してもらった。その後、実践活動時に各グループに配布した課題プリントの質問をして、子どもたちが選択した絵本や雑誌についての内容の理解度の確認を行った。

第4章 調査結果と考察

実践前と実践後に行った質問紙調査の結果、それぞれのクラスで興味の「広がり」と「深

化」といった異なった結果が表れた。絵本の話作りは、子どもたちが自由に想像することを意識するようになり、本への興味につながる活動になった。授業実践でも、子どもたち自身の既存知識や情報、経験の話を子どもたち全員で共有している場面を両クラスから多く窺うことができた。絵本・雑誌の理解度の確認時には、「読む意欲」の高い児童や批判的な読みをする生徒の様子も窺うことができた。また、読書量の多い子どもたちの日本語能力や日本語の学習に、読書が影響を与えていることも分かった。

第5章 結論

実践前と実践後の質問紙の回答結果や、実践での子どもたち同士のやりとりの様子から、子どもたちに読書または、絵本や雑誌への興味を持たせ、引き出すことができたと言える。今後の課題として、興味を引き出してからどう持続させていくか。本や読書に興味を持たない子どもに、いかに興味を持たせたり、引き出したりするための手助けをしていくか。の2点が挙げられる。

継承日本語学習者は継承語である日本語と同様、「読む」ことをどうすべきかの選択権も持っている。本研究で行った絵本や雑誌を使用した実践のように学習者に様々な「読み」があることを知ってもらい、体験してもらってからも、継承語を選択するかしないか考える時間はあると思われる。稿者自身は継承日本語学習者に「読み」の力を育ててほしいと考える。そのためにも、まずは「読み」に興味を持たせて、未知のものを知る喜びを引き出す努力をしていかなければならない。そのために、(i)日系人としてのアイデンティティのための「読み」、(ii)批判的な「読み」、(iii)共有する「読み」の3つの「読み」をこれからの継承日本語学習者にとってふさわしい「読み」と提案したい。

引用・参考文献

- (1) 国際協力事業団(2001)『日本語教科書開発基礎調査』平成12年3月
- (2) 国府田晶子(2004)「絵本と対話による「読み書き能力」の育成—JSL教育を必要とする定住型児童を対象に—」『早稲田大学日本語教育実践研究』第5号 早稲田大学大学院 日本語教育研究科 pp.61-75
- (3) コロニア・オキナワ入植50周年記念誌編纂委員会(2005)『コロニア・オキナワ入植50周年記念誌 —ポリビアの大地に生きる沖縄移民—』オキナワ日本ポリビア協会
- (4) 中川智子(2008)『タイの補習授業校における継承日本語教育の可能性—絵本を活用した支援を通してことばを育む—』早稲田大学大学院日本語教育研究科修士論文(未公開)
- (5) 波木井やよい(2004)「読み聞かせ」黒澤浩・佐藤宗子・砂田浩・中多泰子・広瀬恒子・宮川健郎(編)『新・子どもの本と読書の事典』ポプラ社 pp.189-191

実践使用絵本・雑誌

Bクラス

- (1) イブ・スパング・オルセン 作・絵/ やまのうち きよこ 訳(1975)『つきのぼうや』福音館書店
- (2) 岩井 敏雄 作(2008)『100かいだてのいえ』偕成社
- (3) 岩村 和朗 作・絵(1980)『おおきいトンとちいさいポン』偕成社
- (4) きむら ゆういち 文/高島 純 絵(2008)『どうする どうする あなのなか』福音館書店
- (5) 佐々木マキ 作/絵(1980)『みんなとぶぞ』サンリード
- (6) ジェズ・オールバラ 作・絵/ たが きょうこ 訳(2004)『うきうきしたら』徳間書店
- (7) なかえ よしを 作/ 上野 紀子 絵(1974)『ねずみくんのチョッキ』ポプラ社
- (8) 中川 ひろたか 作/ ひろかわ さえこ 絵(2004)『ともだちになろうよ』アリス館
- (9) 中川 ひろたか 作/ 長谷川 義史 絵 (2008)『おこる』金の星社

Dクラス

- (1) 『Anifa (アニファ)月刊誌 2月号 No.152 』(2008年12月26日発行)
株式会社スタジオ・エス
- (2) 『うちの猫(にゃんこ)のキモチがわかる本 VOL.25』(2008年11月25日発行)Gakken
- (3) 『週刊ファミ通 3月27日号増刊 オトナファミ』(2009年3月27日発行)株式会社
エンターブレイン
- (4) 『週刊 ベースボール 第64巻 第8号 通算2917号』(2009年3月2日発行)ベースボールマガジン社
- (5) 『日経エンタテイメント第13巻 第4号 通巻187号』(2009年3月4日発行)日経BP
- (6) 『non-no 2009年 第39巻 第4号 通巻868号』(2009年3月5日発行)集英社
- (7) 『FINE BOYS 第24巻 第3号 通巻275号』(2009年3月10日発行)日ノ出出版
- (8) 『WORLD SOCCER DIGEST 第15巻 第5号 通巻279号』(2009年3月5日発行)
日本スポーツ企画出版社
- (9) 長谷川 義史 作/絵(2007)『ぼくがラーメンたべてるとき』教育画劇